守山区将来ビジョン

人と自然の調和する 元気あふれるまち 守山







目次

第1章	将来ビジョン策定にあたって	1
第2章	守山区の概況・特性	2
	概要 2	
	区を取り巻く状況 2	
第3章	将来ビジョンの全体像	5
	基本理念5	
	目指すまちの姿と実現に向けた施策	
	区政運営の取組み 7	
第4章	目指すまちの姿と実現に向けた施策	8
	I 安心・安全で快適に暮らせるまち 8	
	Ⅲ 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち 14	
	Ⅲ 魅力と活力にあふれ、愛着を感じるまち 24	
第5章	区政運営の取組み	30

シンボルマーク



守山区の頭文字「M」と「山」を組み合わせ象形化したもの。

外側の丸型の「M」が区民相互のふれあいの豊かさを、全体で鳥が大空へ飛び出すがごとく、伸び行く守山を表しています。 (昭和58年10月制定)

イメージソング

「We Love MORIYAMA!」(平成23年9月発表)

区の花・区の木





(区の花) ききょう (区の木) どんぐり (昭和63年2月制定)

マスコットキャラクター

モリスちゃん (平成24年2月制定)



第1章 将来ビジョン策定にあたって

守山区では、区の現状・課題や特色、社会情勢の変化等をふまえ、区の目指すべき姿やその 実現に向けた施策展開の方向性を示す「守山区将来ビジョン」(令和2(2020)年~令和5(2023)年)を策定し、取組みを推進してきました。

今回の「第2期守山区将来ビジョン」は、前回の「区将来ビジョン」をふまえ、その取組みを さらに前進させるため、令和10(2028)年度までの5年間を新たな計画期間として策定する ものです。

位置づけ

区将来ビジョンは、平成29年3月に本市が策定した「区のあり方基本方針」に基づき、守山 区を取り巻く社会状況の変化をふまえ、目指すべき区の将来像を明らかにし、その実現に向け た中長期の取組みを体系化したものです。

また、市が目指す都市像の実現のために必要な施策や事業を総合的・体系的にまとめた「名古屋市総合計画」の個別計画に位置付けられるものです。



計画期間

令和6(2024)年度から令和10(2028)年度までの5年間とします。

推進に向けて

区将来ビジョンの推進を図るため、各年度ごとに「守山区区政運営方針」を策定し、具体的な事業を展開するとともに、同方針において進捗管理を行います。

目指す将来像の実現には、区民の皆様を始め、関係機関・団体、事業者、大学など、地域に 集う多様な主体と区役所とが、互いの信頼と尊重のもと、ともに協力し活動することが不可欠 です。

地域の実情や課題、思いを共有しながら取組みを進めることができるよう、連携・協働を一層推進してまいります。

第2章 | 守山区の概況・特性

概要

■沿革·地勢

守山区は、昭和38 (1963) 年2月15日に守山市が 名古屋市と合併し、13番目の区として誕生しました。

市の北東部に位置し、北に庄内川、南に矢田川・香流川が流れ、区の東北端にある市内で最も標高が高い東谷山から南西方向へ連なる丘陵地が区の相当部分を占めています。



西暦	和暦	月	できごと
1906	明治39	7月	守山町(二城・小幡・大森・高間の4ヶ村が合併)・ 志段味村(上志段味・志段の2ヶ村が合併) 発足
1954	昭和29	6月	守山町・志段味村が合併し、守山市誕生
1963	昭和38	2月	名古屋市・守山市が合併し、守山区誕生
1971	昭和46	10月	区庁舎が現在地に移転
2013	平成25	2月	区制50周年
2023	令和 5	2月	区制60周年

区を取り巻く状況

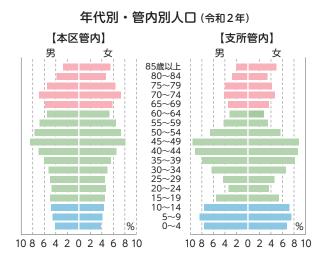
■主な統計

(令和5年10月1日現在)

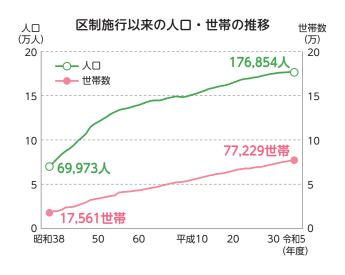
		守山区	名古屋市	16区中の順位
面積(㎞)		34.01	326.50	第3位
人口	(人)※推計人口	176,854	2,326,683	第3位
	65歳以上(人)	46,702	592,940	第4位
	比率(%)	26.4	25.5	第6位
	15歳未満(人)	24,206	266,435	第3位
	比率(%)	13.7	11.5	第2位
世帯数(世帯)		77,229	1,156,744	第8位
1世科	帯あたり人員(人)	2.29	2.01	第2位
人口密度(人/km²)		5,200	7,126	第15位

■人口・社会構造の変化

- ●人口・世帯数は、区制施行(昭和38年)以来、増加傾向で推移していますが、区全体では少子高齢化が進行しています。近年、志段味地区(支所管内)では、子どもや若い世代が急増する一方、旧守山町地区(本区管内)では高齢化が進んでおり、同じ区の中でも地域によって状況が大きく異なっています。
- ●人口・世帯数は、人口176,854人・77,229世帯で、区制施行時と比較して、人口は2.5倍・世帯数は4.4倍に増加しています。(令和5年10月1日現在)



出典:令和2年国勢調査「学区・年齢階級別人□・割合」より作成

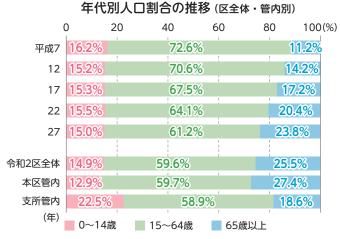




- ●本区管内の人口は、平成22年度をピークに減少に転じています。一方、支所管内は、平成7年度以降、人口が急増していましたが、平成22年度以降はやや緩やかな増加となっています。
- ●年代別では、年少人□(15歳未満)割合が13.7%で16区中2番目に高くなっています。 また、高齢化率は、26.4%で全市平均

一方、生産年齢人口 (15歳以上65歳未満) 割合は59.9%で16区中2番目に低くなっています。(令和5年10月1日現在) 管内別にみると、支所管内では、年少人口割合は22.5%で、本区管内の1.7倍、高齢化率は、本区管内は27.4%であるのに対し、支所管内では18.6%となっています。(令和2年国勢調査)

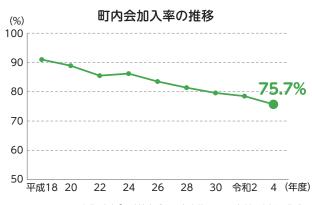
25.5%を上回っています。



出典:各年 国勢調査「学区・年齢階級別人口・割合」より作成

■社会的孤立の顕在化、地域のつながりの希薄化

- ●近年のライフスタイル・価値観の多様 化やコロナ禍での交流機会の減少、暮 らしを取り巻く環境の急激な変化など により、コミュニティ機能の低下が懸 念されています。
- ●町内会は、令和4年度で加入率75.7% と16区中2番目に高い水準を保って いますが、近年は減少傾向で推移して います。



出典:各年「区政協力委員一斉改選にかかる各種調査」より作成

■自然災害に対する懸念

- ●南北を庄内川・矢田川に挟まれており、 河川沿いの地域の水害リスクが高く なっています。
- ●起伏にとんだ地形のため、区内の広い 範囲で土砂災害警戒区域等の指定箇 所が点在しています(74箇所)。

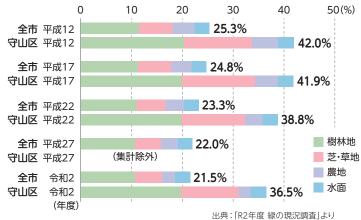
洪水ハザードマップ



■自然や水辺空間、史跡等の豊富な魅力資源

- ■緑被率は、36.5%で16区中最も高く、 唯一3割を超えています。
- ●小幡緑地、八竜緑地、白沢渓谷など豊かな水と緑に恵まれ、絶滅危惧種「マメナシ」も数多く生育しています。 古くから農業も営まれており、身近な自然や農にふれあい、親しめる環境が残されています。
- ●国史跡「志段味古墳群」をはじめとする史跡や神社仏閣、棒の手・神楽・ 木遣り等の郷土芸能も受け継がれています。

全市・守山区の緑被率の推移







国史跡 志段味古墳群

第3章 将来ビジョンの全体像

前回の「守山区将来ビジョン」の基本理念を受け継ぎつつ、その理念を実現するため、3つの「目指すまちの姿」と施策展開の方向性を掲げ、次の5年間のまちづくりを進めます。

基本理念

人と自然の調和する

元気あふれるまち

守山

守山区では、豊かな水と緑に恵まれた環境に加え、数多くの神社仏閣や遺跡、棒の手、神楽、木遣りといった郷土芸能などの歴史的資源が、生活に根差した文化の一部として大切に継承されてきました。

こうした中、長年にわたり、学区を基礎単位とする地域活動が活発に 行われるとともに、多様な主体による様々な取組みが展開され、人と人 とのつながりが大切に育まれてきました。

また、土地区画整理事業などによる都市基盤整備も進み、自然と人の営みや伝統と新しい文化の調和のとれた、魅力と活気あふれるまちとなっています。

守山区が誇るこれらの大切な財産を継承・発展させ、次世代に引き 継いでいくため、まちづくりの基本理念を上記のように定めました。

安心・安全で自然豊かな美しいまちを基盤として、地域の皆様とともに、幅広い世代の区民がつながり、お互いに支えあいながら、誰もがいきいきと自分らしく輝くことができるまちの実現を目指してまいります。

目指すまちの姿と実現に向けた施策

目指すまちの姿		施策	施策の方向性(展開)
	ງ	地域防災力を高め、 災害に強いまちづくりを 進めます	自助・共助・公助の連携による防災・ 減災力の強化災害対応体制の強化
安心・安全で 快適に 暮らせるまち	2	犯罪・交通事故・火災の ない地域づくりを 進めます	犯罪の巧妙化・複雑化に対応した 防犯対策の推進より効果的な交通安全対策の推進より効果的な火災予防対策の推進
4 J C 0 6 J	3	快適に暮らし続けられる 環境づくりを進めます	地域との協働による美化活動の推進環境に配慮した持続可能なまちづくりの推進暮らしの衛生の推進
	ງ	子育てを地域全体で 支える体制づくりを 進めます	地域の団体・拠点、関係機関との ネットワークの構築地域主体の取組みの支援
	2	安心して 子育てができるよう 支援します	妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援子育て家庭のつながりづくりの推進子ども・青少年の健やかな成長の支援
誰もがいきいきと	3	地域でともにつながり 支えあう体制づくりを 進めます	多様な人々がともに支えあい暮らす 地域づくりの推進包括的な相談支援体制の充実地域福祉活動計画との連携・協働
健やかに 暮らせるまち	4	互いに認め合い、 自分らしく暮らせるよう 支援します	様々な支援を必要とする方への 支援及び理解の促進人権・多様性が尊重される 地域づくりの推進
	5	健康で いきいきと暮らせる 環境づくりを進めます	高齢者の社会参加の推進健康寿命の延伸に向けた 健康づくりの推進食育の推進がんの早期発見に向けた啓発と 検診受診の促進

目指すまちの姿 施策 施策の方向性(展開) 自然や歴史を生かし、 地域資源を活用した魅力向上 า 魅力あふれる ● 戦略的な情報発信 まちづくりを進めます にぎわいと活力のある 区民相互のふれあい・交流の場の創出 魅力と活力に 2 地域づくりを進めます 地域コミュニティの活性化 あふれ、 愛着を 感じるまち 文化・芸術・スポーツ活動 文化・芸術活動の振興

に親しめる

環境づくりを進めます

区政運営の取組み

快適で安心できる 区民サービスの提供を目指します

3

2 地域との協働・共創による まちづくりを進めます

- 正確・丁寧・迅速な業務の遂行
- 行政サービスのDXの推進
- 安心・快適な庁舎環境の整備
- 区民ニーズの把握と積極的な情報発信

● スポーツ・レクリエーション活動の推進● 生涯にわたる学びの場・機会の提供

● 多様な主体との連携・協働の推進

■持続可能な開発目標(SDGs)の取組み

SDGsは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略で、「誰一人取り残さない」を基本理念とする、国連サミットで採択された国際目標です。

17のゴール (目標) は世界の都市に共通 した普遍的なものであり、守山区のまちづく りにおいてもSDGsの理念をふまえながら、 あらゆる施策に取り組んでいきます。

SUSTAINABLE GALS



第4章 目指すまちの姿と実現に向けた施策

Blade I 安心・安全で快適に暮らせるまち

施策

地域防災力を高め、災害に強いまちづくりを進めます

施策の方向性

自助・共助・公助の連携による防災・減災力の強化

- ●学区における防災訓練や、地域の自主防災組織等による自主的な防災の取組みを支援します。
- ●地域と連携して「地区防災カルテ」※の継続的な活用を行うとともに、災害リスクの高い地域における広域避難計画の策定を支援するなど、地域の特性に応じた支援を行います。
- ●将来の地域防災の担い手の育成に向け、区内全中学校における防災訓練や防災講演会、災害対策委員等への避難所運営リーダー研修を実施します。
- ●災害を想定した各種訓練や研修、戸別訪問など、 様々な機会を通じて区民一人ひとりの防災への知 識・理解を深め、防災意識の向上を図ります。

※地区防災カルテ:地域の地形、歴史、災害リスク、防災活動状況など、 防災に関する情報を学区ごとにまとめたもの



中学校防災訓練

災害対応体制の強化

- ●実践的な訓練や研修を実施し、区本部機能の強化及び職員の災害対応力の向上を図るとともに、消防署をはじめ関係機関や区内の消防団・医師会などの関係団体との災害時における連携強化を図ります。
- ●指定避難所の円滑な開設・運営に向け、感染症対策の充実や、災害時に支援を必要とする方への対応、災害時のペット対策などに取り組みます。
- 災害時に支援を必要とする方に対し、災害時に適切・安全な行動がとれるよう支援の充実を図ります。



総合水防訓練







現状:課題

- ●南海トラフ地震の発生確率は今後30年以内で70~80%(40年以内で90%程度)とされている。また、近年、記録的な大雨による甚大な災害が全国各地で多発し、ハザードマップにおける災害リスクが計画規模から想定し得る最大規模へ引き上げられるなど、自然災害への備えの重要性が増している。
- ●庄内川・矢田川の二つの河川に挟まれ、丘陵地も多い地形的な特徴から、浸水や土砂災 害発生等の災害リスクが高い地域が点在しており、地域の特性に応じた対策・支援が必 要。
- ●地域における防災力・減災力の一層の強化や、区民一人 ひとりの防災意識と災害対応力の向上が求められると同 時に、災害時に支援を必要とする方が安全で適切な行動 がとれるよう、支援の仕組みづくりが必要。
- ■区災害対策本部が円滑に運営されるよう、関係機関・団体等との連携体制や区本部機能の強化が必要。



耐震留具取付事業 (防災ボラネット守山)



避難所運営リーダー研修



学区自主防災訓練

 成果指標 		
指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
指定避難所開設運営に関する訓練または研修を 実施した学区数	21学区	21学区
「防災診断書」を活用し、訓練指導等を 実施した自主防災組織の数	132	386



犯罪・交通事故・火災のない地域づくりを進めます

施策の方向性

犯罪の巧妙化・複雑化に対応した防犯対策の推進

- ●防犯キャンペーンや各種啓発活動を诵じて区 民一人ひとりの防犯意識の向上を図るととも に、防犯教室の開催など、地域の自主的な防 犯活動を支援し、地域の防犯力の向上を図り ます。
- ●防犯カメラ・防犯灯の設置や、防犯診断など の防犯強化の取組みを通じて、犯罪を未然に 防止する環境整備を支援します。



学区防犯パトロール

より効果的な交通安全対策の推進

- ●街頭キャンペーンや交通安全教室などの啓発 活動を通じて区民一人ひとりの交通安全意識 の向上を図るとともに、地域の自主的な交通安 全活動を支援します。
- 歩行者、自転車、自動車が、お互いを思いやり、 安全に通行できるよう、交通ルールやマナー啓 発、放置自転車対策等に取り組みます。 あわせて、交通事故危険箇所を解消し、通学 路の安全を確保するため、交通安全施設の整 備を進めます。



よいこの交通安全教室

より効果的な火災予防対策の推進

- ●火災予防運動や各種啓発活動を通じて区民ー 人ひとりの防火意識の向上を図り、火災の発 生を抑制します。
- ■高齢者に対して防火指導を行い、住宅用火災 警報器の設置促進の啓発に取り組み、火災予 防対策を進めます。



住宅用火災警報器設置促進ポスター (金城学院大学生デザイン)





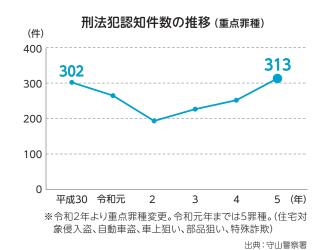


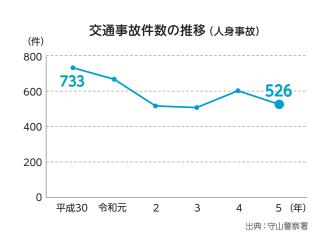
現状:課題

■区内の重点罪種の刑法犯認知件数は、令和5年は313件で増加傾向。 特に「振り込め詐欺」などの高齢者を主なターゲットとした特殊詐欺が増えており、犯罪 の巧妙化、複雑化が進行。

(守山区重点罪種:住宅対象侵入盗、自動車盗、自転車盗、特殊詐欺)

- ●交通事故における人身事故件数は、令和5年は526件で横ばい傾向。 特に65歳以上の高齢者の死傷者割合が高くなっており(令和5年74名・11.8%)、自 転車に関わる事故の割合も高止まり。
- ●火災発生件数は、令和5年は45件で高止まり。なかでも建物火災が約7割を占め、そのうち住宅火災が16件・53.3%で半数以上となっている。
- ●安心・安全で快適に暮らせるまちの実現に向け、防犯・交通安全・防火に対する地域の 活動支援や、区民一人ひとりの意識啓発の取組みをさらに進めていく必要がある。





火災発生件数の推移

(年)

	平成30	令和元	2	3	4	5
火災発生件数	24	39	45	37	49	45
うち建物火災	16	21	26	17	29	30
うち住宅火災	11	14	19	11	21	16

出典:守山区作成

成果指標						
指標	現状値 (令和5年)	目標 (令和10年)				
重点罪種被害の認知件数	313件	293件				
交通事故 (人身事故) 件数	526件	500件				
建物火災件数	30件	22件				

快適に暮らし続けられる環境づくりを進めます

施策の方向性

地域との協働による美化活動の推進

- ●地域住民や事業所、関係機関等との連携によ り、クリーンキャンペーンをはじめとした「町 を美しくする運動」を推進し、地域の特性に応 じた美化活動を実施するとともに、町美意識 の高揚に向けた普及啓発に取り組みます。 また、空地や空家等に対して関係機関と連携 した対応を進めます。
- ●地域による公園や街路樹、河川の愛護会等活 動を支援し、良好な環境づくりを進めます。



学区クリーンキャンペーン

環境に配慮した持続可能なまちづくりの推進

■区民一人ひとりが、環境負荷の低減や自然と の共生に向けた行動を継続的に実践できるよ う、資源・ごみに関する広報や3R行動の推 進などの啓発に取り組みます。



資源・ごみの分別とSDGsコーナ

暮らしの衛生の推進

- ●食品による健康被害の予防啓発や、犬・猫の 飼主のマナー向上など適正飼育の推進に向 け、適切な情報発信と相談対応を行います。
- ●ペットの飼主等に対し、災害時の備えや避難 所での対策について周知・啓発を行います。



ペットの防災対策の啓発



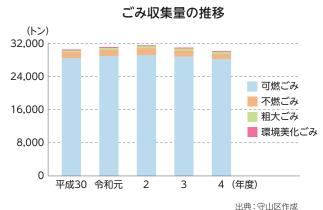






現状。課題

- ●快適な生活環境を確保するためには、地域における継続的な清掃活動を推進するととも に、適切な管理がなされていない空地や空家等への対応、緑化・ごみ減量意識の普及啓 発や犬・猫による迷惑防止対策など、区民・事業者・行政が一体となった取組みが必要。
- ●守山区のごみ収集量は、令和4 年度は30,068トンで、ほぼ横ば いで推移。
- ●SDGsへの対応や脱炭素社会の 実現に向け、区民一人ひとりが 環境に配慮し、具体的な行動を することが求められている。





愛護会等活動



環境バザー

成果指標		
指標	現状値 (令和5年度)	目標 (令和10年度)
地域の清掃活動 (クリーンキャンペーン) への 参加者数	10,064人	14,500人
イベント等で飼主のマナー啓発資料を配布	20	20

Blad II 誰もがいきいきと健やかに暮らせるまち

施策

子育てを地域全体で支える体制づくりを進めます

施策の方向性

地域の団体・拠点、関係機関とのネットワークの構築

●保育施設、行政機関、大学等で構成する「子育て支援ネットワーク事業守山チーム」との連携を一層深め、地域全体で子育てを応援する環境づくりを進めます。

子育て支援ネットワーク事業守山チーム 構成員

守山子育て支援センター

守山子育て応援拠点

守山子育て支援拠点

守山区保育協会

守山保育園エリア支援保育所

大森保育園エリア支援保育所

名古屋市私立幼稚園協会守山支部

発達センターちよだ

東部地域療育センターぽけっと

守山児童館・守山区社会福祉協議会

愛知県立大学看護学部

金城学院大学人間学部

志段味スポーツランド

守山スポーツセンター

守山子育て隊「ちゅうりっぷ」

守山区主任児童委員連絡会

なごや子ども応援委員会守山ブロック

守山図書館・志段味図書館

守山保健センター・守山区役所・志段味支所

(令和6年4月1日現在)

●妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「こども家庭センター」を設置し、 地域や関係機関・団体等と連携した子育て支援を進めます。

地域主体の取組みの推進

- ●地域の子育でサロンや赤ちゃん訪問など、地域において子どもの健やかな成長を見守り育む取組みを支援します。
- ●子ども会の様々な活動を通じて、子どもの活動の輪を広げ、心身の健全な成長を促すことができるよう、子ども会活動の運営支援や、情報発信による活動の推進を図ります。



学区子育てサロン



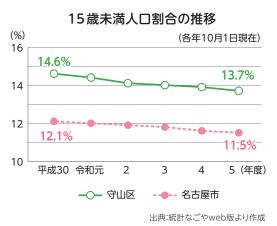






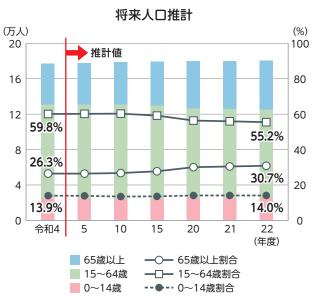
現狀課題

- 守山区の年少人口(15歳未満)割合は、13.7%(今和5年10月1日現在)で市内で2番目に高く、 将来推計人口においても同程度で推移する見込み。特に志段味地区においては、土地区画 整理事業の進展などにより、子どもや若い世代が急増している。
- ●近年の人口構造の変化やライフスタイルの多様化に加え、新型コロナウイルス感染症の影 響により、子育て環境の孤立化やつながりの希薄化が進み、子育て家庭における不安や負 担感、孤立感が高まっている。
- ●地域ごとの特性を踏まえながら、出産や子育てに関する不安の軽減に向けて、地域や関係 機関・団体等と連携した支援体制を構築し、地域全体で子育てを支える環境づくりが必要。





子ども会活動



出典: 名古屋市作成(令和4年10月1日現在)

成果指標 指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
地域で行われている子育て支援活動の認知度	17.8%	30.0%
「もりやまっこ子育て広場」の来場者満足度	95.2%	96.0%

安心して子育てができるよう支援します

施策の方向性

妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援

- ●安心して子育てできるよう、「子育て総合相談窓口」をはじめ妊娠期からの身近な相談体 制を充実し、乳幼児の健やかな成長を支えるなど、子ども・子育て家庭へのきめ細やか な支援を行います。
- ●子育てに関する情報誌「もりやまっこ 子育てマップ」の発行や「子育て情報 サイト」の運営を行い、子育て世代に 必要な情報を積極的に発信します。





子育て情報サイト「もりやまっこ」

子育て家庭のつながりづくりの推進

●子育ての不安感や孤立感を軽減するため、「子育て支援ネットワーク事業守山チーム」と 連携した「子育て広場」を定期的に開催します。

あわせて、地域の子育てサロンや子育て応援活動を支援し、地域と子ども・子育て家庭 同士が身近で交流でき、つながりを持てる機会を提供します。

子ども・青少年の健やかな成長の支援

- ●青少年を守る運動期間において、パトロールな どの啓発活動を行うとともに、登下校時の声か けや見守りなどの「地域の世話焼き活動」を推 進し、地域全体で子どもを見守る意識の醸成を 図ります。
- ■思春期を迎える小中学生に対して、学校と連携 し、命の尊さや成り立ち、性に関する知識を普 及する講話や体験学習等を行う「思春期セミ ナー」を開催します。
- ●児童虐待・DV等の発生予防や早期発見・早期 対応に向けて、児童相談所をはじめ関係機関と の連携を強化し、地域における啓発と見守り活 動の推進に取り組みます。



学童の見守り活動















現状:課題

- ●子育ての悩みや不安の解消、孤立化防止に向け、子育て家庭のつながりづくりの機会や 交流できる場づくり、正しい知識の提供などの支援が必要。
- ●児童虐待相談対応件数は、令和5年度は115件で増加傾向。 児童虐待の通告先を知っている区民の割合は、令和5年度で15.5%に留まっている。
- ●スマートフォンなどの普及により、子どもや青少年が有害情報に接する機会やトラブルに 巻き込まれる危険性が増す中、子どもを地域で見守っていく意識を高めることが必要。





もりやまっこ子育てマップ

児童虐待対応件数の推移

(年度)

平成30	令和元	2	3	4	5
94	90	90	56	71	115

※児童相談所及び区役所・支所において対応した件数

出典:守山区作成

成果指標	TBJL! /#	
指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
子育て情報サイトを知っている区民の割合	6.5%	15.0%
児童虐待の通告先 (相談窓口) を知っている 区民の割合	15.5%	30.0%

施第多

地域でともにつながり支えあう体制づくりを進めます

施策の方向性

多様な人々がともに支えあい暮らす地域づくりの推進

- ●高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域包括ケアシステム※1を地域に根差した持続可能な仕組みとしていくとともに、区民の認知度を高め、理解を深めてもらえるよう、普及啓発に努めます。
- ●障害のある方とその家族が地域で安心して暮らし続けられるよう、「守山区自立支援連絡協議会」をはじめとした地域・団体・関係機関等とネットワークを構築し、連携・協働による取組みを進めます。
- ●様々な支援を必要とする方が地域から孤立しないよう、地域や関係機関等との連携を強化し、地域の特性や資源を共有しながら地域課題の解決に向けた取組みを進めます。





守山区版地域包括ケアシステム ガイドブック THE MOVIE

包括的な相談支援体制の充実

- ●分野横断的な相談・支援体制の整備により、重層的・包括的なケア基盤を充実させるとともに、支援を必要とする方へのアプローチを進めます。
- ●ヤングケアラー^{※2}への対応など、困難を抱える子どもが心身ともに健康に育つことができる環境づくりを進めます。

地域福祉活動計画との連携・協働

●守山区社会福祉協議会が中心となり地域、団体・ 事業者、行政機関等が一体となって策定した「第5 次守山区地域福祉活動計画」の取組みと連携し、 地域福祉の推進を図ります。





第5次守山区地域福祉活動計画

※1 地域包括ケアシステム:高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療、介護、介護、介護予防、住まい、生活支援が一体的に提供される体制。

※2 ヤングケアラー:本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども。









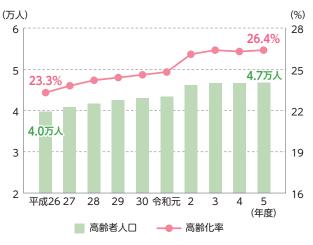




現状課題

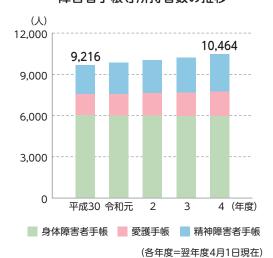
- ●高齢化率は、26.4% (今和5年10月1日現在)で、令和2年度以降、全市平均を上回っており、 団塊世代が75歳以上となる令和7(2025)年には26.6%に達する見込み。
- ●障害者手帳等所持者数は、令和4年度は10,464人(令和5年4月1日現在)で増加傾向。特に精神障害の増加率が大きい。
- ●高齢者をはじめ様々な支援を必要とする方が、住み慣れた地域で自分らしく生きがいを持って暮らし続けることができるよう、地域包括ケアシステムの一層の推進や、地域における支援体制の構築が求められている。
- ●8050問題やひきこもりをはじめ福祉ニーズの多様化・複雑化に対応するため、支援体制の構築と合わせて、地域の様々な主体・担い手によるネットワークの強化が必要。





出典:統計なごやweb版「毎月1日現在の年齢別人口 (5歳階級別) 」より作成

障害者手帳等所持者数の推移



出典:健康福祉局障害企画課資料より作成

成果指標		
指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
「地域包括ケアシステム」を知っている区民の割合	16.1%	26.0%
「地域支えあい事業」の実施学区数及び 生活支援活動件数	5学区 66件	6学区 400件

施第4

互いに認め合い、自分らしく暮らせるよう支援します

施策の方向性

様々な支援を必要とする方への支援及び理解の促進

- ●障害者とその家族が、それぞれの状況やライフステージに応じて各種制度を活用できるよう、守山区障害者基幹相談支援センターと連携して相談や情報提供の充実を図り、地域において自立した生活ができるよう支援します。
- ●地域や関係機関等と連携して、障害に対する知識や理解を深める取組みを行います。 あわせて、授産製品の販売促進や、障害のある方が利用する施設・事業所の情報提供を 行い、就労や社会参加の促進を図ります。
- ●神経難病患者とその家族に対し、専門職による医療相談や患者交流などのサポート体制 を充実させるとともに、地域における支えあいを支援します。
- ●認知症に関する理解を深め、一人ひとりが少しずつでも行動に移せるよう、認知症講演会などにより啓発を行うとともに、認知症の方とその家族、地域の方が関わりあえる機会づくりを進めます。

人権・多様性が尊重される地域づくりの推進

●区民一人ひとりが様々な人権課題への理解を深め、人権意識を高めることができるよう、 講演会やイベントなどを通じて、人権尊重や男女平等参画、多文化共生の啓発に取り組みます。



授産製品販売促進事業「ハートフルもりやま」



人権尊重のまちづくり事業















現状:課題

- ●高齢者や障害者、難病患者などを始め、様々な支援を必要とする方とその家族が、地域 で孤立することなく、自立的・安定的に日常生活を送ることができるよう、各々の状況・ ニーズに応じた必要な支援を行うとともに、地域における相互理解を深めることが大切。
- ●年齢や障害・疾病の有無、経済的な困窮など様々な理由から社会との接点が希薄な状態 にある方に対し、社会参加の支援や生きがいづくりの場の充実が必要。
- ●区民一人ひとりの人権と、多様な生き方、個性や価値観が尊重され、自分らしく輝ける地 域社会の実現が求められている。



日中活動事業所や支援事業所の紹介冊子



緊急時あんしん情報シート



認知症講演会



MORIYAMAライ麦プロジェクト

成果指標 指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
困った時に相談できる所 (人・場所) が地域にある 区民の割合	74.3%	85.0%
「神経難病患者・家族のつどい」の開催	50	50

健康でいきいきと暮らせる環境づくりを進めます

施策の方向性

高齢者の社会参加の推進

- ●高齢者が地域でいきいきと暮らすことができ るよう、老人クラブや高齢者サロンなど社会参 加につながる機会を増やし、生きがいづくりや 仲間づくりを支援します。
- 高齢者が役割をもって地域で活動できるよう、 地域活動への参加促進と意欲の喚起につなが る取組みを進めます。



高齢者サロン

健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進

●生活習慣病の予防や健康に対する意識の向上 につながる取組みを進めるとともに、地域や関 係機関等と連携して身近な健康づくりの場・ 機会をつくり、フレイル予防や介護予防に自発 的・継続的に取り組めるよう支援します。



フレイル予防教室

食育の推進

●生涯にわたり適切な食生活を送れるよう、離乳 食の進め方や幼児の食育教室の開催、広い世 代への啓発活動など、食育の推進を図ります。

がんの早期発見に向けた啓発と検診受診の促進

●若い世代が比較的多い志段味支所管内での実 施回数を増やすなど、地域の特性もふまえて 乳がん検診を効果的に実施するとともに、子 育て世代の女性に向けた乳がん早期発見の教 室を開催し、乳がんに関する知識の習得と啓 発を進めます。



乳がん講座







現状課題

- ●守山区の介護保険要介護・要支援者数は、9,241人(令和4年度末現在)で介護保険 法施行(平成12年)時の約3.8倍。
- ●「人生100年時代」を、生涯にわたりいきいきと健康に過ごすためには、子どもから高齢者まで、区民一人ひとりが年代や状況に合わせて主体的に心身両面の健康づくりに取り組むことが必要。
- ●健康寿命の延伸に向けて、区民が気軽に参加できる身近な健康づくりの場や機会を広げることが必要。
- ●がんや生活習慣病など、疾病の予防や早期発見に向け、各種検診・健康診査の受診啓発 に取り組むとともに、世代に応じた情報発信や支援を行うことが求められている。



老人クラブ活動

介護保険要介護・要支援者数の推移



出典: NAGOYAかいごネット「区別要介護等保険者数」より作成

成果指標 ————————————————————————————————————		
指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
日頃から健康について意識している区民の割合	87.3%	90.0%
乳がん自己触診法教室の実施回数	200	30回

Blad III 魅力と活力にあふれ、愛着を感じるまち

施策

自然や歴史を生かし、魅力あふれるまちづくりを進めます

施策の方向性

地域資源を活用した魅力向上

- ●地域の自然保護団体や関係機関等と連携し、 区の貴重な自然を守り、育てるための保全活動やPR活動に取り組みます。
- ●都市農業の振興に向けて関係機関と連携し、 区内農家の支援と「地産地消」の推進に取り 組みます。
- ■区内の史跡・名所、志段味古墳群等のガイド やまちあるきイベントを通して、歴史や伝統を 伝える人材を育成します。
- ■区の魅力・特色をテーマとして、地域や経済 商業団体、事業者、大学等の幅広い主体と連 携しイベントや情報発信を行うことを通じて、 地域のさらなる活性化を図ります。



守山自然ふれあいスクール 観察会



守山探検隊 まちあるきイベント

戦略的な情報発信

- ■区マスコットキャラクター「モリスちゃん」や広報なごや守山区版、市公式ウェブサイトの守山区ページ・SNS等の多様な広報ツールを、情報を届けたいターゲット層を意識しながら活用し、地域の魅力や特色に関する情報を積極的・効果的に区の内外に発信します。
- ●地域の魅力・特色について、子どもの頃から体験する機会を設けるとともに、区民を巻き込みながら発見・発信する取組みを進めることを通じて、区への愛着心や区民相互のつながりを育みます。



子どもがつなげる守山まちづくり プロジェクト







現状。課題

- ●小幡緑地、八竜緑地、白沢渓谷など、豊かな水と緑あふれる自然に恵まれ、また古くから 農業が営まれており、緑被率は36.5%で16区中1位。
 - 身近で自然や農にふれあえる環境が残されている一方、約30年間で緑被率は13.8ポイ ント減少、緑被地面積は468.61 ヘクタール減少している。
- ●国史跡「志段味古墳群」や神社仏閣など数多くの歴史的資源があり、棒の手や神楽、木 遣りなど古くから伝わる郷土芸能も受け継がれている。
- ●貴重な地域資源を次世代に引き継いでいくため、地域の主体的な活動を支援するととも に、幅広い世代の多様な主体が連携して守り、育み、活用する取組みの推進と意識の醸 成が必要。



守山区魅力写真展

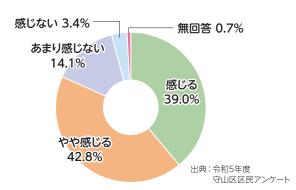


八竜緑地自然観察会



農産物品評会

区に愛着を感じる区民の割合



成果指標	現状値	目標
指 標	(令和5年度)	(令和10年度)
守山区に愛着を感じている区民の割合	81.8%	85.0%

にぎわいと活力のある地域づくりを進めます

施策の方向性

区民相互のふれあい・交流の場の創出

●「元気まつり守山(区民まつり)」の開催や世 代間交流を目指した各種イベントの実施、地 域における交流促進活動の支援を通じて、区 民相互のふれあいや連携・交流の場を創出 します。



元気まつり守山

地域コミュニティの活性化

- ●町内会・自治会をはじめ様々な分野で地域 のために活躍する団体の活動を支援します。 また、各々の活動や取組みについて積極的に 情報発信し、幅広い世代に参加を働きかけ ます。
- ●若者が区民まつりや各種イベントに参画して 活躍できる機会や、まちづくりに携わる楽し さを知るきっかけを作る場を提供し、若い力 を発揮できる環境をつくるとともに、将来の 地域の担い手の育成・発掘を進めます。
- ●大学のノウハウや学生の柔軟な発想をまち づくりに活かすため、大学とのさらなる連携・ 協力の発展・深化を図ります。



交通安全キャンペーン





子どもがつなげる守山まちづくりプロジェクト キッズタウンもりやま









現状・課題

- ●近年の価値観やライフスタイルの多様化、新型コロナウイルス感染症の影響等により、 地域のつながりの希薄化や地域活動の担い手不足が課題として顕在化。
- ●地域が抱える様々な課題に対応するため、地域活動や行事を通じた区民相互のふれ あいやつながり、交流を活性化し、活力にあふれる地域づくりに取り組むことが求め られている。
- ●近年のまちづくりの進展により人□・世帯が急増している志段味地区を中心に、区全 体で新旧住民や多様な世代が交流できる場・機会づくりが必要。



守山・しだみレモンフェア クイズ大会



学区盆踊り大会



守山・しだみレモンフェア



モリスちゃん杯ディスクドッヂ大会

成果指標	現状値	目標
指 標	(令和5年度)	(令和10年度)
「元気まつり守山」の来場者満足度	100%	100%



文化・芸術・スポーツ活動に親しめる環境づくりを進めます

施策の方向性

文化・芸術活動の振興

- ●地域や各種団体と連携して、誰もが文化・芸 術に親しむことができる場づくりを進めるとと もに、文化・芸術を通じた区民のつながりや 交流の機会を提供します。
- ●若者の文化・芸術に対する興味や関心を育み、 活躍を促進できるよう、文化・芸術活動の発 表の場を提供します。



美術振興展

スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ■スポーツ大会やイベントなどの開催を通じて、 運動・スポーツへの関心を高めます。
- ●区民主体の活動の支援を通じて、誰もがそれ ぞれの目的や体力、年齢に応じて、スポーツ・ レクリエーションを楽しむことができる機会や 場の提供を進めます。



軟式野球大会

生涯にわたる学びの場・機会の提供

●誰もが生涯にわたって自由に学び、充実した 活動ができるよう、多様な学びの場や機会の 充実を図ります。

あわせて、学びの成果を積極的に地域に還元 し、継続的な活動につなげることができるよう、 実践・活躍の場づくりを進め、区民の生きが いづくりを支援します。



美術体験講座







現状。課題

- ●近年、美術展等の文化イベントやスポーツ大会の参加者は減少傾向にあり、各団体の構 成員も高齢化等による担い手不足が懸念されている。
 - アジア・アジアパラ競技大会の開催を契機としたスポーツへの関心の高まりや交流拡大 などの機会を捉えて、区民の健康で心豊かな生活や地域でのつながりづくり、地域の魅 力向上の機運を醸成するとともに、身近な場で文化・芸術・スポーツにふれあえるきっ かけづくりが必要。
- ●誰もが生涯にわたって自由に学び、その成果を幅広く地域や社会に生かすことができる、 活躍の機会や場づくりが求められている。



子ども美術展



秋の生け花展



レクリエーションバレーボール大会



凧の手作り・凧揚げ

成果指標 指標	現状値 (令和5年度)	目 標 (令和10年度)
区民美術展等、各種展覧会の来場者数	1,483人	2,200人
各種スポーツ大会の開催件数(主催・共催)	26事業	26事業

第5章 区政運営の取組み

基本理念の実現に向けて、区民にとってより身近で信頼される区役所を目指し、区民の 視点に立った行政サービスを提供するとともに、区に関わる多様な主体との連携・協働に よる地域づくりを進めます。



快適で安心できる区民サービスの提供を目指します

正確・丁寧・迅速な業務の遂行

- ●来庁者のニーズを的確に把握し、一人ひとりに寄り添った分かりやすい説明と丁 寧・迅速な応対を行うとともに、さらなる接遇の向上を図ります。
- ●個人情報の適正管理を徹底するとともに、事務処理誤りを含む不祥事防止と業務 の適正・適切な執行確保に区役所全体で取り組みます。

行政サービスのDXの推進

- ●行政手続のオンライン化や電子申請の環境整備など、DX※を積極的に推進し、「行 かなくてよい」「待たなくてよい、書かなくてよい、分かりやすい窓口」を実現し、 行政サービスの利便性向上を図ります。
- ※ DX: Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション) の略。 進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念。

安心・快適な庁舎環境の整備

感染症対策など適切な庁舎管理を行うとともに、特に来庁者が増えている待合フ ロアを中心に、来庁された方が快適に過ごせるよう、環境改善に取り組みます。





キッズコーナー



地域との協働・共創によるまちづくりを進めます

区民ニーズの把握と積極的な情報発信

- 区民が必要とする行政情報を分かりやすく、適時適切に届けることができるよう、 広報なごや守山区版や市公式ウェブサイトの守山区ページ・SNSなど、様々な広 報媒体を活用した効果的な広報を進めます。
- 区民会議や各種アンケート、学区担当 職員制による地域行事への参加など、 様々な機会を通して区民の意見やニー ズを的確に把握し、区政運営に適切に 反映します。



区民会議ワークショップ

多様な主体との連携・協働の推進

- ■区民、事業者、各種団体、学校など、様々な活動をしている方との「協働・共創」 の視点を大切にし、多様化・複雑化する地域の課題に取り組みます。
- 様々な分野にまたがる地域課題の解決に向けて、区政推進会議や各分野の会議を 通して、守山区を管轄する行政機関の連携を強化します。



公式ウェブサイト









公式インスタグラム



第2期守山区将来ビジョン

守山区役所区政部企画経理課

〒463-8510 名古屋市守山区小幡一丁目3番1号

編集・発行

電話 ▶ 052-796-4648 FAX ▶ 052-796-4508 E-mail ▶ a7964648@moriyama.city.nagoya.lg.jp ウェブサイト ▶ https://www.city.nagoya.jp/moriyama/

